



もりた じゅんいち

## 伊賀びと(伊賀市)森田 順一さん(56歳) NPO法人アイ・コラボレーション伊賀副理事長



一級建築士として独立して設計事務所を開業し、仕事も家庭も趣味も順風満帆の生活を送っていた森田さんに、すべてを失うくらいの悪夢が訪れたのは、3人目の子どもが生まれる3ヶ月前、昭和62年6月のことだった。ラグビーの最中に脊椎を損傷し、両手・両足が麻痺し、鉛筆も持てない重度障がい者となった。

2年間のリハビリにより車いす生活ながらも家庭復帰は果たしたものの、仕事に復帰することは簡単ではなく、更に1年間、障がい者職業訓練施設に入所し、当時としてはかなり珍しい建築設計CADをマスターし自宅での仕事復帰を果たした。肢体障がいというハンディキャップを逆転の発想で、障がいのある人だからこそ解るバリアフリー設計により、上野市社協(当時)のリフォームヘルパーとして、多くの高齢者や障がい者宅の住宅改良に携わった。

平成14年に、情報共同作業所アイ・コラボレーション伊賀を設立し、多くの障がい者がITという情報ツールを活用して、ホームページの制作や、パソコン教室の講師により、収入を得られる体制を確立していった。その後、NPO法人化に伴い、副理事長に就任した森田さんの夢は、現在の障がい者地域活動支援センターを、今後就労継続B型に改善していくために、まちなかの空き店舗を利用した施設を増やし、そこで、障がいをもった人や高齢者の人たちがいっしょに働けるような仕事を生み出し、雇用契約を結び、最低賃金以上の収入を得られるようにすること。更には、障がい者、高齢者のためのグループホームや福祉工場を経営するために、社会福祉法人を設立することだそう。

かじわら みちあき

## 伊賀びと(名張市)梶原 道明さん(66歳) 名張錦生簡易郵便局長

一般企業退職後、昨年末までの約4年間錦生公民館で事務員としての勤務を終え、今年の6月23日から自宅の一部を改修した『名張錦生簡易郵便局』で局長を務める梶原さん。

公民館勤務中に『JA支所』『路線バス』が廃止となったことや、コミュニティバス(ほっとバス錦)の運行がはじまるなど、地域が変容していく姿を目の当たりにされていた。公民館へ訪れる高齢者との会話の中で“高齢者にとって住みにくいまち”になっていることを実感したという。また、郵便局の出張所として、週2回程度公民館を間借りして郵便局を開局できないかとの話があったこともあり、公民館退職後「ちょっとでも地域の方への恩返しになれば」と今年2月から数カ月の準備期間を経て同郵便局を開局した。

高齢化率30%を超える同地区では、お客さんとして訪れる方の多くは高齢者であり、市外や県外に住む子どもや孫へ自分で作った『野菜』や『お米』を送っているという。離れた家族間をつなぐ郵便物を送った後は、30分~1時間程度、局内で梶原さん夫婦と世間話をして帰っていく。「町の金融機関等であれば顔を知らないこともあるが、ここでは皆顔見知りであり地域の憩いの場としてもっと活用してもらいたい」と、夫婦で経営するアットホームな郵便局には、梶原さんの趣味である『写真』が飾られており、今後は地域の方にも局内の掲示スペースを有効に利用してもらおうことを考えている。

「一般企業だけの経験では開局することはできなかったが、公民館で勤務していたことで、地域の方とたくさん関わりの持った結果である。あまり難しいことはできないが、地域の方に便利に使ってもらい、ちょっとでも錦生の元気を魅せていきたい」と語ってくれた。



# なんでもかんでも情報BOX

## 第2回 名張スケッチクラブ「四季彩」展

水彩、スケッチの好きな仲間のサークルです。  
このたび第2回の「四季彩」展を開催いたします。  
会員それぞれが自由なモチーフで描いた作品約70  
点を展示いたします。是非ご来場ください。

【日時】8月6日(木) 13:00~18:00  
8月7日(金) 10:00~18:00  
8月8日(土) 10:00~18:00  
8月9日(日) 10:00~17:00

【場所】ジャスコ新名張店リバーナホール

【出展者】稲森 三明 岩本 勉 岩本 敏生  
内仲 輝雄 久保 昭年 小林 芳郎  
斉藤 四郎 坂上眞佐子 諏訪 次郎  
副島 純雄 高谷亜佐男 徳島三樹夫  
信岡 和恵 三田村等司 山田 知治  
若林 正造 大北 恵子 (順不同)

【代表】小林 芳郎

【事務局・問い合わせ先】

徳島三樹夫 電話 0595(65)1903  
稲森 三明 電話 0595(63)7217  
久保 昭年 電話 0595(63)0770

## 認知症の人と家族の会 伊賀地区つどい・交流会

社団法人認知症の人と家族の会三重県支部では、伊  
賀地区の方を対象に交流会を開催します。ぜひご参加  
ください。

【日時】8月19日(水) 13:30~16:00

【場所】緑ヶ丘東町公民館(伊賀市緑ヶ丘東町)

【対象】地域で認知症について関心をお持ちの方なら  
どなたでも参加できます。参加申込不要です。

【内容】参加者との意見交換・情報交換、介護相談等

【参加費】一人500円 (家族の会会員300円)

【問い合わせ先】社団法人認知症の人と家族の会三重  
県支部(担当:泉) 0595(24)4545

## いが若者サポートステーション 第2回保護者向けセミナー

【日時】8月29日(土) 10:00~11:30

【場所】ゆめぼりすセンター2階大会議室

【対象】ニート・ひきこもりのお子さんのことでお悩  
みの保護者の方、もしくは関心のある方

【内容】「ひきこもり」と家族を考える

~親の子離れ、子どもの親離れ~

講師 伊賀市こども発達支援センター長 井上良純

【参加費】無料【定員】100名【参加申込】不要

【問い合わせ先】いが若者サポートステーション

電話 0595(22)0039

## 防災啓発ゲーム クロスロード研修会

阪神・淡路大震災での神戸市職員の実体験をベース  
に災害時の対応をシミュレーションするカードゲーム  
教材「クロスロード」を使って、あなたのまちでも  
ワークショップをやってみませんか?

【日時】9月25日(金) 13:30~15:30

【場所】上野商業高校 中央棟1階基礎看護実習室

【定員】30名 【受講料】無料

【参加対象】住民自治協議会防災担当者・民生委員児  
童委員・自主防災会・防災ボランティア等、防災に興  
味のある方であればどなたでも受講できます。

【申込方法】伊賀市社協本所まで、受講者氏名及び所  
属団体名をご連絡ください。

電話 0595(21)5866

当日、伊賀流ふくし塾第2日目と同時開催します。

## 幼児向け3B体操

【日時】毎週月曜日

16:45~(1時間)

【場所】下町コミュニティセンター(伊賀市柘植町)

【対象】年少・年中・年長児

【月謝】3,300円

(兄弟姉妹で参加の場合、2人目は500円)

【内容】3B体操協会公認インストラクターによる指  
導により、楽しく体を動かします。まずは無料体験し  
てみませんか?

【主催】ジュニア3B・いがまち

【問い合わせ先】伊賀市社協伊賀支所 (担当内田)

0595(45)1012

## 出張楽焼き体験!

NPO法人伊賀流いきいきプランさちの会では、地  
域のふれあいいきいきサロンや保育園、小学校等に出  
張して、素焼き素材に絵付け指導をし、後日焼成を行  
いお届けいたします。

出張楽焼き体験をご希望の団体は、日時、場所、人  
数、内容等を事前にご連絡ください。

【材料費】コップ・皿 500円

忍者置物 850円

貯金箱(たぬき・招き猫)800円

【申込・問い合わせ先】

NPO法人 伊賀流いきいきプランさちの会

伊賀市上野恵美須町1621

エルピスハウス 地域交流センター内

電話 0595(24)5068

FAX 0595(23)6261

# 伊賀び～と紙面相乗りコーナー

## ボランティア・市民活動スローガン & 写真コンテスト(伊賀市社協)

伊賀市ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア啓発事業の一つとして、ボランティア・市民活動に関するスローガン(標語)と写真のコンテストを行います。入賞作品は、社協だよりや伊賀び～と等へ掲載し、ボランティア活動の紹介やPR等に活用します。

### 【募集作品】

スローガンの部〔標語〕 ボランティア活動や市民活動に関するスローガン

写真の部 社協広報「あいしあおう」の表紙を飾る心温まる写真で、昔の写真や四季折々の写真

未発表のものとしします。

スローガンの部、写真の部に分けて募集します。

応募は各部とも1人2点まで

### 平成20年度特選作品

助け合う君の手ぼくの手 みんなの手

【応募資格】どなたでも応募できます。

【審査方法】伊賀市社協広報委員会が入賞作品を選定します。

【表彰】審査の結果については、社協だより「あいしあおう」10月号に掲載し、表彰状及び記念品を授与します。

スローガンの部入賞は、特選1点・入選5点とします。写真の部は入選作品11作品以内を社協広報「あいしあおう」表紙に掲載します。

### 【記念品】

(スローガンの部)

特選 商品券 5,000円分

入選 商品券 2,000円分

(写真の部)

入選 社協広報「あいしあおう」掲載とパネル進呈

### 【応募方法】

スローガンは所定の応募用紙で応募する場合は、伊賀市社協各支所で配布していますので、各支所に提出してください。応募用紙を使わない場合は、必要事項

住所 氏名 年齢 電話番号を明記し、伊賀市社協本所へ送ってください。葉書、封書、FAX、メールで応募を受け付けます。

写真の応募は、プリント写真を各支所に提出するか応募先まで郵送、または画像データをメールで送ってください。(JPEG高解像度のもの)

【締切】9月18日(金)必着

【応募先】〒518-0869

伊賀市上野中町2976-1 伊賀市社会福祉協議会  
ボランティア・市民活動コンテスト係

電話 0595(21)5866

FAX 0595(26)0002

メール ue-vac@hanzou.or.jp



## 皇學館大学 学生支援センター通信

先般、国家資格化から20年を経て、社会福祉士法の改正がなされましたが、現場は当然のことながら戸惑いを感じています。教育の立場からその内容が吟味され、洗練されていくことに異論はありません。しかし気になる点を個人的にあげておきます。

まず、改正に伴う動機をめぐる議論に疑問があります。「取得しても役に立たない資格を役立つよう転換する」ことに集約される動機には、不純と限界を感じます。良くも悪くも20年間もかけて経過を見てきた上で、「役に立たない」のならば、そもそも国家資格としての制度化が失敗だったのではないかと、という議論がなされるべきです。

また、今後、多様で複雑な資格のブラッシュアップがなされるものの、一体どの程度のマーケットを想定しているのでしょうか?「医師・看護師不足」とは言われますが「社会福祉士不足」は聞きません。職域拡大と質の向上を同時並行しなければならない現実が社会福祉士にはあるわけですし、なにより、育てるだけ育てて、あとは知らないと決め込んでいた大学の責任も重たいと思います。

学生数確保のための資格偏重主義が、福祉系については崩壊している現状で、今後は現役資格取得者数の減少が想定されます。どの大学も撤退や縮小を検討・実施する中で、あらためて資格の必要性和、<地域の現場>に求められる養成人数の見直しを行わなければ、改正によるあいまいなビジョンが、ますます見えづらくなりそうです。(社会福祉学部 板井 正育)

## いが移動送迎連絡会

毎日が蒸し暑くて寝苦しい季節になりましたが、この季節は、車でエアコンを効かせての移動送迎サービスをしている時が特に幸せな時間ですね

7月の連絡会は暑い中、またまた暑い議論を16名により行いました。

主な内容は、9月12日、13日に開催する国土交通大臣認定講習についてと、前々回に引き続いて福祉有償運送事業に対する補助金についてでした。

福祉有償運送を行う非営利団体が抱える問題は、全国的にキビシイ状態であり、伊賀市においても同様で、見た目には同じ送迎であっても、社会福祉協議会が行う送迎は伊賀市の受託事業であり、その他の事業所は受託事業ではありません。これらも含めて抜本的な見直しが必要であり、伊賀市の福祉有償運送への意識を高め、安定した支援策の提案をまとめなくてはなりません。

とにかく一人でも多くのご提案が欲しいと考えています!ご参加お待ちしております!

【今後のいが移動送迎連絡会のご案内】

【日時】8月10日(月)19:00~21:00

【会場】上野ふれあいプラザ4階講座室

【日時】9月16日(水)19:00~21:00

【会場】上野ふれあいプラザ4階講座室

【問い合わせ先】伊賀市社会福祉協議会

電話 0595(21)5866

## 森のアトリエ“ART ON”

森のアトリエでは、造形活動支援プログラムART ONを開催しています。本年度の伊賀市展の入賞に向けて、次の目標が楽しい創作をされていたり、気持ちのゆっくりする時間をすごされたりと、みんなの居場所づくりができたかと考えています。



M.T.

森のアトリエの歴史を共有して一緒に歩んでくださっている、M.T.さんの作品です。

アトリエができて2、3年のころ、活動日にふらっといらっしゃってからのアトリエの仲間です。独特の色の感覚とフレッシュな感性で、一つのスタイルにこだわらない制作をされる方です。最新作は、時間をかけながらイメージの世界を追求されています。

障がいの有無に関係なく、子どもから高齢の方まで、いろいろな皆さんが絵を描いたり、ものを作ったり、ほっこりしたりとART ONの時間が過ぎていきます。

8月のART ONの開催日は、2日(日)・16日(日)・23日(日)・30日(日)の9:00～16:00です。よろしければどうぞお越しください。

お問い合わせは、下までどうぞ!

【問い合わせ先】森のアトリエ

伊賀市阿山ハイツ1390番地 電話 0595(43)0755

メール atelier\_woods@lemon.plala.or.jp

## ギャラリー常盤からのお知らせ

### ロックコンサート

【日時】8月23日(日) 昼過～夕方

【主催】ブラックホール

8月の郷土史講話は夏休みします。

【問い合わせ先】山下090(3389)4353

メール n-thinks@e-net.or.jp

ホームページ <http://www.e-net.or.jp/user/n-thinks/>

## 水と緑のたより

伊賀のとおきおきの自然～秘蔵の国の魅力～

上野民俗資料館では、子どもたちが夏休みのこの時期8月9日まで県立博物館の移動展示で賑わっています。



とおきおきの自然・秘蔵～ときたら今話題のオオサンショウウオを抜きには、考えられませんよ、ということで見に行きました。

狭い展示室ではありますが上手く配置されていて、オオサンショウウオコーナーがナント全体の1/5位もスペースありました。

小学生にはワークブックが渡され、女兒がパパに助けを求めながら取り組んでいてほほえましかったり、オオサンショウウオの模型を見たママが気持ち悪～とつぶやくのを子どもが聞いている姿を見て、大人の先入観で支配されちゃうなあと、気になったりいろいろ考えさせられておもしろかったです。

これくらいの展示は、上野で常設してもらいたいと思いました。期間中無料です。4時までにはお入り下さいね。



【申込・問い合わせ先】

NPO法人 伊賀・水と緑の会

事務局 0595(52)1721 畑中

<http://blog.goo.ne.jp/mtomiga>

## 伊賀線応援通信

夏真っ盛り。暑さに負けずに成長するのは草ばかり……。そんな状態で、草を引いても引いても、次に駅に行けば草まみれ。協力者がいれば……。そんな思いでいっぱいです。お手伝いいただけます方は、下記の日程で駅へお越しください。

【日時】8月23日(日) 9:00～12:00

【場所】伊賀鉄道伊賀線「丸山駅」

【内容】駅舎の入り口から草がすごいんです。中も広い敷地には草がびっしり。その草引きをしたいと思えます。お花の募集もしておりますので、お持ちいただければと思います。作業の出来る服装で、軍手やカマ、クワなどの道具とお茶を持参の上、直接駅にお越しください。皆様のご協力をお待ちしております。

【事務局】ふるさと鉄道保存協会

ワフ30037伊賀ワーキンググループ

〒518-0124 伊賀市下郡222番地

電話 090(3302)0627

# NPO 法人 伊賀の友便り (33)

うたとハーブのコンサートを行いました。  
田中ゆかさんと伊藤ひろしさんをお招きし、コンサートを開きました。  
美しいハーブの音色を聴きながら、心が洗われる感動の一時間となりました。



赤とんぼや浜辺のうた、コーヒールンパなどの知っている歌のほか、オリジナル曲の「うたの中の天国」では、亡くなられたお母さんへの感謝の気持ちが現れており、感動の一曲でした。

特定非営利活動法人「伊賀の友」

伊賀市下友生 2367 電話 21-1833  
火曜～土曜 8:30～16:30

# W.T.Aまちづくりセンター

お年を聞いたら同級生。仕事も同じでした！！いきなり親近感♪♪

先日、勉強会に行ったら知らない方と同じチームになりました。

あ！！  
知ってる  
この人が  
そうかあ



誰やる??



やっぱり出会いってすごいですね。積極的にいろんなところに参加しなくっちゃ♪

自己紹介で分かったのは、お名前は知ってたけど初めて顔を拝見したこと。



暑いですね…。こんなに暑くて夏を越せるかしら…と思うような暑さ。皆さん、体調壊してませんか？さて、様々な情報紙を見ていると、いろんな勉強会がありますね。自分がかかわっているものは割と参加するんですが、それ以外にもまた言ってみようと思います。いくと勉強になるし、出会いもありますね。自分とは違った立場、違った背景の方から刺激をいただくこともあれば、偶然同じ仕事や立場だったという方もいて、これから相談相手にもなっていただけそうだなあ、と思ったり。人と知り合って話をするとすることは面白いですね。暑いけれど、積極的に出かけたりして、出会いの機会を大切にしたいものです♪♪

## 三重県上野森林公園 9月の行事予定

### クモの観察会 「森のハンターを探せ！」

日時…9月5日(土) 10:00～12:00  
募集人数…30名程度(小学生～一般向け)  
募集期間…8月14日(金)～8月28日(金)  
森の優れたハンター・クモを探してその魅力を知ろう。どんな環境でも20種類はいると言われるクモをじっくり観察できる絶好の機会です。他の観察会に参加したことのある人でも、新しい発見があること間違いなしです。小雨決行。

### 雑草雑木ワークショップ2 「草木染め」

日時…9月25日(金) 10:00～12:00  
募集人数…10名程度(一般向け)  
募集締切…9月4日(金)～9月18日(金)  
草木染めは同じ材料を用いても季節毎に染まる色は変わります。その季節ならではの色に染まった布を生活の中に取り入れて、自然の恵みを楽しみましょう。媒染液も自然のものをを用いるので安心です。



### 行事申し込み方法

電子メール、FAX または往復はがきでお願いします。参加者全員の住所、氏名、年齢、電話・FAX 番号、参加希望の行事名をご記入のうえ、各行事の受付期間内に下記までお申し込み下さい。往復はがきでお申し込みの場合は、締切り日必着。返信面のご記入もお忘れなく。メールで申込後、受付の返信が届かない場合は、すぐに公園までお問い合わせ下さい。応募者多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

伊賀森林組合 三重県上野森林公園

〒518-0817 伊賀市下友生字松ヶ谷1番地  
TEL 0595-22-2150  
FAX 0595-22-2151  
メール muenofp@e-net.or.jp

### まだまだ作品募集中！ 「森の絵画展2009」

展示期間…10月1日(木)  
～10月31日(土)  
募集期間…8月15日(土)  
～9月15日(火)

上野森林公園は絵の題材が豊富で、多くの絵画愛好家の方々がスケッチをする姿が見られます。その作品を来園者の皆様にご覧いただく絶好の機会ですので、多くのご応募お待ちしております。

すべての人が共に支え合って暮らしていくことのできる社会をめざして活動しています。

# NPO 法人ユニバーサルデザイン同夢(どうむ)

7月4日(土)から始まっています!!

文化庁 平成21年度「生活者都市の外国人」のための日本語教育事業  
身近な外国人支援のための・・・

## にほんご指導ボランティア養成講座

伊賀市、名張市在住の24名が参加して、日本語指導の方法などについて、学習しています。

- 8月 1日(土) 日本語の意味
- 8月 8日(土) 日本語を教えるための教材づくり
- 8月22日(土) 日本語の教え方(1)
- 8月29日(土) 日本語の教え方(2)
- 9月 5日(土) ブラジルの文化と多文化共生

見学を希望される方はご連絡をお願いします。

連絡先: 〒518-0823 伊賀市四十九町 1278-26

TEL&FAX 23-9513 Eメール: son@doumu.net URL: http://www.doumu.net



## 霞仙女のタロット・セラピー「今月の切り札」(14) “棒の8”



は〜い皆様、こんにちは!  
暑い毎日ですが、いかがお過ごしですか。夏バテしていませんか。汗をかいて、体温調節能力を高めましょう。水分補給も、ちゃんとしてくださいね。

さて、今月は「棒」が8本、空中を飛んでいるカードです。タロットカードの中では珍しい、人物の描かれていないカードでもあります。規則的に並んで、飛んでいくのか、それとも飛んで来たのでしょうか、止まっているその一瞬の出来事という感じです。

私は、このカードと同じ状態にあるものを見つけると、写真を撮りたくなります。それは、踏切にさしかかった電車、離陸する飛行機、飛んでいる鳥など、かなりのスピードで目の前を通り過ぎるものを静止画にしたものが「棒の8」と同じだからです。

このカードが出た時、物事が急速に規則的に進行して、しっかり見ていないと終わってしまう、そんな「動体視力」や「機敏性」が必要であることを自覚してください。タロットカードを何枚か並べた時には、その隣にあるカードにヒントがあります。「何が」急がれるのか、「なぜ」そうなるのか、「結果」はどうなるのか、落ち着いて素早く考えなければなりません。次から次へやってきては、遠ざかっていくのです。

逆位置に出たこのカードは、離れていくことを意味します。ただし、これは突然起こるものではなく、毎日くりかえされることや規則的なことです。なぜこのカードが出るのかを考えると、「タイミング」や「リズム」を意識しなさいと教えているのです。その日その時に片付けていかないと、大変なことになりますよ。

【今月のキーワード】

「規則性・即決」... 与えられた課題はすぐに片づけないと、たまってしまいます。

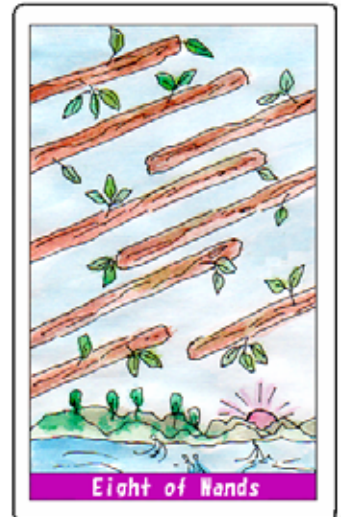
タイミングを逃すと、もう二度と同じものは戻りません。

挨拶・確認・報告・練習・お礼を言うべき時は、即対応!

過ぎたことに心を奪われたら、次のことがわからなくなるよ。

「霞の館」 伊賀市服部町一丁目72番地 ご予約・お問い合わせ TEL・FAX 24-6006

ひとりで悩まないで、お気軽にお越しくださいね。



## NPO法人 伊賀の伝丸

=言葉・ことば・コトバ=

## &lt;ラテン系言語編&gt;

今、時代はエコの時代！皆さんが乗っている車もエコカーだったりしませんか？エコカーの名前にたくさんのラテン系言語がつかわれていてご存知ですか？



たとえば、「ビスタ(Vista)」は「展望」という意味。「バモス(Vamos)」は「さあ、行こう！」、「プレセア(Presea)」は「宝物」という意味になります。実は、エコカーだけでなく国産車にはたくさんのラテン系の言葉が使われていて「エルグランド(El grande)」は「偉大な」や「セレナ(Serena)」「澄みきった」など例を挙げればキリがありません。皆さんが乗っているマイカーも、もしかするとラテン系かもしれませんよ…。

## 伝丸 会員募集中

学んだ語学を活かしたい人  
地域で何か活動したい人  
外国人と友達になりたい人など

会員特典... 語学講座の割引  
... 多文化交流会への参加など  
詳しくは事務局までお問い合わせください



伊賀の伝丸は **言葉の壁を乗り越えて、ともに住み良いまちづくり**をする団体です

多言語通訳・翻訳・語学教室の  
NPO法人 伊賀の伝丸(つたまる)  
〒518-0861 伊賀市上野東町  
TEL&FAX 0595-23-0912  
E-mail info@tsutamaru.or.jp  
URL http://www.tsutamaru.or.jp



## 人情集団 An-Pon-Tan 『夢のバリアフリーミュージカル』

## いよいよ本番!!

三重県内4ヵ所公演のトップを切って8月9日(日)に伊賀公演(伊賀市文化会館)がおこなわれます。公演に向けてあんぼたんメンバー一同、心一つに準備万端です!!

「伊賀の地で、An-Pon-Tanの公演を!!」

との声をたくさんいただき、伊賀での公演が決定しました。ありがたい気持ちと同時に「たくさんの人に見に来ていただけるのだろうか」という不安がありました。そんな不安を消してくれたのが、伊賀のみなさんのあったかさです!!

話し合いの場では、

「会館を満席にするには、 をしてみはどうか」「 さんをお願いしたるで!!」  
と、たくさんアイデアをいただいたり、色々な所へ働きかけていただいたりしました。

広報回りでは、

「見に行くさかい、公演がんばってな!!」「応援してんで!!」


と、嬉しい声をいただきました。その結果、公演一ヶ月前にしてチケットが売り切れてしまうという事態にまでなりました。伊賀のみなさんに支えられあんぼたんはここまで来ることができました。本当に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

あんぼたんは、プロのようにきれいな歌声、華麗なダンスではないかも知れませんが、あんぼたんが大切にしている「こころ」を込めて精一杯届けさせていただきます。当日、みなさんと会場でお逢いできるのを楽しみにしています。



「ほっとけへん」 気持ちと気持ちが つながって 大きな輪になる ボランティア

8月のお知らせ



2009.08.01 No.11

毎日更新のブログもみてね♪

地域と自然 検索

ご予約・お問い合わせは  
TEL&FAX 0595-63-9666  
〒518-0469

三重県名張市赤目町長坂941番地の1

赤目四十八滝キャンプ場

自然素材空間ちよいまる

忍者クイズをつけたでござる

場内に十数か所

自然から学んだ


知恵や技を知ろう

(入場料: 大人 400円 小中学生 200円 幼児無料)

ちよいまる 検索

夏のおしゃれはこれで決まり!

♪女性、男性♪  
♪幅広い年齢層の方に人気♪



夏休みの宿題や思い出作りに

- 自然の葉っぱでリーフプリント  
34cm角日本手拭 500円 など  
(ちよいまるの自然ネタも習得)
- 水質指標生物調査  
10名以上 400円/人  
平日は比較的すいています **要予約♪**

第11回 8月のよし笛コンサート♪

8月30日(日) 19:00~19:30

【演奏ちよいまるず】

コンサートだけなら参加無料

♪ポップスなどよし笛三重奏♪全5曲

(予約制: 定員15人) **要予約♪**

石窯ピザづくり体験♪

2600円/1枚

2枚目以降半額♪

【所要時間約60分程度】

三重県産小麦粉を使用した人気のおいしい体験メニュー


**要予約♪**

入場料別途 (大人 400円 小中学生 200円 幼児無料)

自然だもん【紋】

2310円

ガールズM、全23色  
メンズM、L、XL



忍者Tシャツ説明書付き (英語訳あり)

赤目四十八滝キャンプ場  
0595-63-9666  
自然素材空間ちよいまる



No.16 (09/08)

# かわら版 みどりの絆

特定非営利活動法人 みどりの絆



ぐりーんばんず

時には陽気に肩の力を抜いて・・・恩おくり  
**Pay it forward**

---

## 園芸福祉入門講座開催のお知らせ

名張市園芸福祉推進事業(園芸福祉市民講座)

- ・ 内容
  - ・ 園芸福祉活動事例紹介(講師 前川良文)
  - ・ 実践活用実習 「楽しい箱庭づくり」(講師 数本有喜子)
  - ・ 実践活用実習 「秋の寄せ植えづくり」(講師 福森久美子)
- ・ 日時 9月11日(金曜日) 13:30~16:30
- ・ 場所 名張市市民情報交流センター 会議室
- ・ 参加費 無料(但し 材料費 1500円要)
- ・ 募集人数 各回 30名まで(先着順)
- ・ 参加資格 名張市に在住、在勤、通学している方を対象としています
- ・ 申込方法 下記事務局へ氏名、年齢、住所、連絡先を記入の上、ハガキ、FAX、メールで申込む  
名張市市民情報交流センターに申込用紙があります  
ホームページからも申し込みできます

『園芸福祉実践講座』も開催されます

(内容) 実践講座2回、実践研修1回、フォローアップ1回  
(日時・会場) 10月~12月 名張市市民情報センター  
(募集人数) 30名(先着順)  
(申込) 上記と同じ  
(参加費) 無料(但し、実践講座のみ各回材料費 1500円必要)



携帯申込みできます (入門講座用)

今年もお手伝い  
させていただきました



伊賀市  
小田地区  
バス停前  
花壇整備

園芸(福祉)活動中間支援事業

---

Kobo レモンガラスさんの  
農園拝見



みどりの絆は  
園芸(福祉)活動中間支援事業  
で応援しています

事務局 〒518-0753 三重県名張市蔵持町里 2405-3 Fax 0595-48-6160

Mail wish-care@krc.biglobe.ne.jp **ホームページ** <http://www.m-kizuna.com>

# 伊賀市市民活動支援センター

## 「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」事業説明会を開催します。

三重県により「文化力」を生かした自立・持続可能な地域づくりを目的に、本年度から6年間にわたり実施される「美し国おこし・三重」の事業について、下記のとおり説明会を開催します。ぜひご参加ください。

平成21年8月12日(水) 西柘植地区市民センター 19:30~  
 平成21年8月19日(水) ゆめぼりすセンター 2F 10:00~  
 平成21年8月19日(水) 青山公民館 2F 19:30~

## マッチングギフト(寄付)にご協力をお願いします!

市が実施する補助事業である地域活動支援事業(市民公益活動支援)の財源となる寄付(マッチングギフト:寄付に市が同額を拠出して財源とします)を募集しています。個人・企業・団体を問わず、ご協力をお願いいたします。

詳細については、本庁市民生活課・各支所住民課・市民活動支援センターまでお気軽にお問合せください。\*支援センター内に募金箱を設置しております。

## 臨時休館のお知らせ

市民活動支援センター・ゆめぼりすセンターでは、下記の2日間を臨時休館とさせていただきます。

8月15日(土)

8月16日(日)

ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。



## 高速カラープリンタ利用のご案内

市民活動支援センターで高速カラープリンタ(インクジェット方式)をご利用いただけます。ご利用していただけるのは、市内で活動を行なうか、活動拠点がある市民活動団体などとなっています。ご利用に関する詳細につきましては、市民活動支援センターまで事前にお問合せください。

	枚数(1原稿)	カラー		10枚まで	50円
A4 1枚	10枚まで	30円	A3 1枚	11~50枚まで	30円
	11~100枚まで	20円		51~100枚まで	20円
	101枚以上	10円		101枚以上	10円

\*利用料金は積上方式になります。  
 例:A3カラーで200枚を印刷した場合、  
 100枚までの積上分 2,700円+100枚以上の  
 枚数×10円で利用料金が、3,700円になります。  
 \*印刷されるデータをお持ちください。(USB等)



〒518-0131 伊賀市ゆめが丘1-1-4 ゆめぼりすセンター内

TEL:0595-22-1511(代表) FAX:0595-22-0317 E-mail:igasksc@ict.ne.jp

ホームページ: <http://www.ict.ne.jp/~igasksc/> ブログ: <http://blog.canpan.info/igasksc/>

支援センター休館日:年末年始(臨時休館あり) 開館時間:午前9時から午後10時まで

(ただし、開館日の午後5時以降の夜間利用は、2日前までの事前申込が必要です。)

# 地域福祉計画 ニュースレター

VOL.39

「伊賀び〜と」をご覧の皆様、こんにちは。7月も部会や推進委員会では活発な議論があり、見直し後の計画推進に力が入っています。地域福祉計画では公募メンバーを随時募集しています。地域福祉推進に関する様々な検討を行っていますので、興味のある方は是非検討に加わってください。

<会議報告>

開催日	テーマ別検討部会など	開催場所・時間	内容
7/2(木)	協働のしくみづくり検討部会	上野ふれあいプラザ4F 講座室 19:00	「伊賀市における協働のしくみ」素案資料の検討
7/8(水)	H21年度第2回 伊賀市地域福祉計画推進委員会	ゆめぼりすセンター 14:00~	H20年度の計画推進にかかる評価について 他
7/15(水)	総合相談支援検討部会	上野ふれあいプラザ3F ミーティングルーム 14:00~	医療福祉相談室の仕事(講師:岡波総合病院 医療福祉相談室 鈴木努さん)
7/17(金)	福祉でまちづくり検討部会	上野ふれあいプラザ3F ミーティングルーム 10:00~	計画推進委員会報告 起業フェスタ参加報告 聞き取り調査報告 小地域福祉活動の活性化について

<テーマ別部会等開催予定>

開催日	テーマ別検討部会	開催場所・時間	内容
8/6(木)	地域福祉教育 推進プラットフォーム検討部会	名張市市民情報交流センター 18:30~	伊賀流ふくし塾開催報告 情報交換
8/7(金)	協働のしくみ検討部会	ゆめぼりすセンター 19:00~	「伊賀市における協働のしくみ」素案資料の検討
8/10(月)	交通問題検討部会	上野ふれあいプラザ4F 講座室 19:00	伊賀市の地域交通について
8/24(月)	福祉でまちづくり検討部会	上野ふれあいプラザ3F ミーティングルーム 13:30~	小地域福祉活動の活性化について
9/3(木)	協働のしくみづくり検討部会	上野ふれあいプラザ4F 講座室 19:00	「伊賀市における協働のしくみ」素案資料の検討

【問い合わせ先】伊賀市健康福祉部 介護高齢福祉課 ☎0595-22-9634/伊賀市社会福祉協議会 ☎0595-21-5866

# コラム & コラム & コラム

## 女性と子どものためのコラム “ mayu ” 「行動の選択」



女性と子どものヘルプライン・MIE (mayu)

ある行動を取る。ということは、大人である個人が自分で選んで取っています。相手の言動がどうであれ・・・そのことで、自分の感情が愉快になったり不愉快になったりするの、自分の問題になります。

例えば、相手がいやみな言葉を発しても、其のにより、不愉快になったり、怒り心頭になり、相手を罵倒したり、殴るなどの暴力行為を働いてしまった場合、其の行為や行動は、あくまでも其の行為・行動をした人の責任になってしまいます。

車を運転中、後ろの人がホーンを鳴らしたとしても、其のホーンに苛立ち、急いで発進して事故につながった場合、其の責は、いくら「後ろの車が悪い」と言ってみても、急に発進して事故を起したドライバーが負うことになるのです。

DV加害者がよく言う言葉に『妻が僕を怒らせた』『妻が僕を殴らせた』・・・妻がまるでDV加害者を『彼女自身を殴らせるように』何か無線のようなもので操作し操縦して居るように聞こえます。

本当にそうなのでしょうか？

本当に妻に彼を操作し操縦する力があったのでしょうか？彼は、妻に自分の行動を操作・操縦されているということなのでしょうか？他者を操作・操縦出来る人間の力を超えた力=超能力が、彼の妻には有ると言うことでしょうか？誰か他者に自分の感情や行動を操作・操縦される人がいるのでしょうか？

疑問を感じます。

『子が僕を怒らせた』『子が僕を殴らせた』まるで子に超能力があり、子の力で僕があたかも操作・操縦されているように聞こえます。僕は主体的に感情(怒りも感情)が出せず、主体的に行動(殴ることも行動)を起せない人間のようにも聞こえてきます。

一方では、『僕が子に怒った』『僕が子を殴った』子はどうか、彼女の言動が良い悪いはとにかくとして〔彼女の言動は彼女自身が責任を取る〕、子がどうか僕は、自分の感情を自分でしっかり選べ、自分の行動も自分でしっかり選ぶことの出来る人間だというように聞こえます。

自分で選んだ行動には結果が付いてきます。殴るという行動をすれば、相手がどうか、人間として許されない行動であり、其の責任は、其の行動を取った人が負うことは明白なことです。それが「主体的な人間」の姿だと私は思います。

『この行動は誰の取った行動か？』そして『この行動を選択したのは誰か？』必ず行動の前には、其の行動の選択があるのです。其の選択は、誰もが自分でするのです。自分の行動を選択する力が誰にでもあるのです。誰かに操作・操縦されるということではないのです。主体的に選択し、行動しましょう！

## kisukeの映画談義 鍵屋の辻



伊賀市内には、様々な史実の舞台になった場所が、形を変えながら今もその姿を残しています。

「みぎいせみち・ひだりなら道」の道しるべで知られる鍵屋の辻。文字通り伊勢街道と奈良街道の分岐点であり、藤堂藩の時代から盛んに往来のあった重要な交通拠点です。

この鍵屋の辻、日本三大仇討ちのひとつ「鍵屋の辻の決闘」の舞台としてその名を馳せています。「鍵屋の辻の決闘」とは、渡辺数馬が荒木又右衛門の助太刀を得て、弟の仇である川合又五郎を討ち取った戦いのこと。数馬と又右衛門は、奈良から伊賀街道を通過して江戸に向かおうとする又五郎一行を、この鍵屋の辻で待ち伏せ。そうとは知らぬ又五郎一行が鍵屋の辻を通過したとき、一気に切り込んで決闘が始まり、延べ5時間に渡る長い長い戦いの果てに、数馬と又右衛門が又五郎を討ち取って、仇討ちを達成しました。時に1634年、寒い冬の出来事でした。

この事件、その後も人々の高い関心を得続け、今も映画やドラマなどの題材になっていることは、みなさんもご存知のことと思います。随分昔の話ですが、実際に鍵屋の辻で映画が撮影されたこともあります。「荒木又右衛門 決闘鍵屋の辻(1952年)」は、三船敏郎が又右衛門を演じ、鍵屋の辻で立ち回りが繰り広げられました。いまや道路は舗装され、道しるべだけが当時の面影を残しています。

そんな鍵屋の辻ですが、岐阜県の“大垣映像プロジェクト”という団体から、ある申し出がありました。何でも、鍵屋の辻の決闘を題材にした映画を撮影したいというのです。大垣映像プロジェクトは岐阜県大垣市を中心に、年1本のペースで主に史実に基づく時代劇自主映画を制作している団体で、先日代表者が伊賀市に来られ、鍵屋の辻を中心に撮影の下見を行ないました。なぜ大垣??それは、河合又五郎一行に加わっていた槍の名手・桜井半兵衛が大垣出身なのです。そのため今回は、桜井半兵衛の視点でこの戦いを描こうという企画が出来上がりました。

伊賀と大垣。仇討ちという武家同士の争いから数百年。いまや、残された史実とそれを再現する映像によって、ふたつの街の交流に発展しようとしています。これも時を越えた不思議な縁ですね。実際の撮影はもう少し先になりそうですが、またこの場でもお話しく思います。(伊賀映像文化推進委員会 木村 直史)

## 堀内晶の伊賀思ひ出紀行 「中ノ瀬の磨崖仏」と「鷗宮神社」

(伊賀市猿野 堀内 晶)



平成16年6月14日 朝から快晴となり、さわやかな日となった。上野へと向かう途中、中ノ瀬の磨崖仏を見学する。真言宗豊山派の大光寺(伊賀市寺田)所管のもので、県指定文化財になっている。伝阿弥陀仏三尊像は中央の尊像は高さ276cm、向かって左の脇侍像は153cm、右の脇侍像は135cmで、他に地藏菩薩像は高さ251cm、不動明王像は233cmで、これからの石仏群は花崗岩の岩壁に彫られており、中央の阿弥陀如来立像は旧上野市の磨崖仏としては最大のものである。石仏群は二つに分けられ向かって右側から「梵字」と、地藏菩薩立像、伝阿弥陀三尊像、不動明王立像の順に配置されており、これらは伊賀別所(大山田の新大仏寺)の創建にたずさわった宋人(昔の中国人)系の石工の子孫の手によって造立されたものと考へられている。三尊像のうちの中尊像のみが半肉彫であり、他の像は線刻である。中尊像は大きな目鼻立ちの面相と陰影の深い彫り方、体部と衣文の深い彫り込みなどに鎌倉時代の様式がみられる。しかし、他の像の作風がこの像と比べて違っていることや、全体の構成に統一感がないことから、最初にこの像が彫られたあとで、鎌倉時代から室町時代にかけて徐々に他の像が彫られていったと考えられ、これらの石仏像は古くには、伊賀別所参拝の人々によって、前を流れる服部川の対岸の街道から拝まれていたと考えられる。平成6年3月9日指定 上野市教育委員会 以上が標示されている説明である。

11月13日、くもり後晴れる、急思い付きで島ヶ原行きとなる。10時40分頃発、昼食を名阪国道の大内インターの近くですます。温度は昨日20度近くあったが、がたんと下がり、11度~12度位で足が冷える感じである。163号線のバイパスへ戻り、小学校・中学校に隣接する「鷗宮神社」へ参拝する。島ヶ原へは、平成11年7月22日、県ゲートボール協会伊賀支部大会で猿野Bチームとして出場して以来、5年ぶりである。鷗宮神社は正月堂と関係が深く天平勝宝3年(751)の創立で、事代主命外十四柱を祀る。旧村の中央部の小高い丘陵の南端に位置し、125段の石段がある。その石段の下に自然石の大石灯籠があり、天保14年に水帳の取調帳と共に寄進されたもので高さ5.28メートル、重さ54.2トンある。又、同じく旧村の文化財の四角燈籠がある。寛文6年(1666)3月、菅公(菅原道真公)のために建てた銘があり、天正11年(1583)3月、伊賀川洪水の際、川南地区上川原の海樹に流されてきてとまったということで、これを鷗宮神社に合祀した。御神体は菅公御自作の木像とのことである。

## 室地聡の一刀両断世相“斬り”(四十九)「認知症予防法その2」

まずタイトルに関して・・・。「認知症予防法」となっているが、これは字数の都合でこうなっているだけで、私は実は何とか予防法という言い方はあまり好きではない。“予防”を意識したりすることなく、こうやっていけばそんなことになるはずはない、常にそういう考え方・方法を提起しているつもりだからである。

また何かあることに効果のあることは、万般に亘って効果のあること、頭脳活性化には役立つけど、体の健康には全く関係ないといった偏頗なものを提起するつもりも全くない。頭脳活性化に役に立つと同時に、心身の健康にも、また真の意味での幸福にも役に立つ方法、更には、目的と手段がひとつである、そういうものしか提起していくつもりはない。

一方、最近の西洋流医学などというのは、泌尿器科、胃腸科、循環器科・・・といった具合に診療科が以前にも増して臓器(群)別にこまかく分かれているが、こういう考え方は、言ってみれば部品修理業的(最近では部品修理だけでは飽き足らなくなって、部品交換つまり臓器移植業にまで手を広げているが・・・)。人間をひとつの統一体と考えないで、小分けして考える、こういう思想は思想自体、下の下、オソマツの限り。

私の言っていることは実に簡単明瞭。欣びに満ちた前向きな態度(JOYFUL & POSITIVE ATTITUDE = JPA)を持して欣びに満ちた前向きな生活・人生(JOYFUL & POSITIVE LIFE = JPL)を実践すること、そうすればひとりだけで心身の健康に繋がるし、頭脳も活性化される。また欣びに満ちた前向きな生活を実践していれば幸福そのもの。なぜそうなるのか。欣びに満ちた前向きな状態にいるとひとりだけで“氣”が旺盛に出る。旺んに出せば盛んに入ってくるというのが道理というもので、“氣”を旺んに出せば“氣”が盛んに入ってきて“生氣”横溢の状態になる。

ところで“氣”というのは敢て欧米流の言い方をすれば、“エネルギー”。エネルギーが乏しいと何をなすにもうまくいかない。またエネルギー“氣”はすべての根元。根元の氣だから、これを“元氣”という。「元氣を出せ!」という言い方は、さっき言った旺んに出せば盛んに入ってくるという原理から言って実に正鵠を得たコトバだが、多くの場合、このコトバを言った方も言われた方もその真意が分かっていないようで・・・。

また欣びに満ちた前向きな状態で頭を働かせると、間違いなく頭はイキイキ働き、認知症などとは全く無縁の人生が送れる。また欣びに満ちて前向きに頭を使うということは、常識や定説などに唯々諾々と従うのではなく、トコトン自分なりに考えるということでもあるから、目の着け所が違って来る。そうするとあっと驚くような素晴らしいアイデアにも到達できる。

その一例として、先月号で、所謂“速読”のことをちょっと書いておいたのだが・・・あの私の仮説は実にドンピシャリで、私の“速読セミナー”を受けた人は殆ど例外なく、リラックスして普通感覚で本を読んで結果として、何倍速。中にはヘミングウェイの「老人と海」を2分半で読んだ人も・・・。と言ったところで、今月号の打ち止め・・・。



# なぎの「ぷらっと会議」通信



7月のぷらっと会議は、9団体10人が参加。コーディネート研修の内容を詰める議論や講師との打ち合わせ事項の検討、美し国おこし・三重の事業説明会について、広報などについて、フィルムコミッションについてなどを話し合いました。一つ一つに人が集まると様々な角度からの意見が出ます(\*^o^\*)どなたでも参加可能です。お気軽に参加してくださいね。お待ちしております。

## 次回ぷらっと会議のご案内

**8月のぷらっと会議**  
【日時】8月6日(木) 18:30~21:00  
【場所】名張市市民情報交流センター

**9月のぷらっと会議**  
【日時】9月8日(火) 18:30~21:00  
【場所】皇學館大学本館研究棟2階  
当日詳しい会場がわからない場合は090(3302)0627までお電話ください。

## 鬼瓦編集長の市民活動時事批評



Part52「伊賀のボランティアルーツ」  
社協広報「あいしあおう」8月号で、我らフクシレンジャーで紹介するのが、旧島ヶ原村で昭和38年に誕生し、現在も活動が継続されている「ふきのとう」というボランティアグループです。

今から46年以上も前に、数名の主婦が中心となって始めた活動は、年に1回、ひとり暮らし高齢者に食事を届けるという活動だったそうです。伊賀市内には昭和34年に誕生した上野市BBS会(現在の伊賀市BBS会)も現存していますが、BBS会や食生活改善推進協議会などは意図的に組織化された団体であるため、「ふきのとう」のような自然発生的に結成された団体とは少し意味が違います。

当時はまだボランティアという言葉や概念すらなかった時代ですから、島ヶ原村で46年前に純粋なボランティアグループが誕生していたことは驚きです。しかも、もっと驚くことに、結成当時のメンバーが現在も現役で活動していると言うことです。少なくともボランティア歴46年の大ベテランと言うことです。今度、是非その46年も一筋にボランティア活動を続けているボランティアさんを伊賀び〜との表紙で紹介したいと思います。伊賀地区でもっと古くからボランティア活動をやっているよという情報がありましたら、編集長までご連絡ください。

## 伊賀び〜と原稿募集!

伊賀び〜とに掲載する原稿を募集しています。掲載料は無料です。

【募集原稿】

**伊賀びと(表紙)**

ユニークな市民活動をしている方をご紹介ください。自薦・他薦を問いません。事前にインタビュー取材をします。

**なんでもかんでも情報BOX**

イベント告知、ボランティア募集等なんでもOKです。必要事項をご連絡ください。

**紙面相乗りコーナー**

毎号決められたスペース(最大A5版横)に掲載します。

**コラム&コラム&コラム**

市民活動に関するコラムであれば何でもOKです。800字程度を限度に受け付けます。

【原稿送り先】

伊賀び〜と編集委員会

〒518-0869 伊賀市上野中町2976番地1上野ふれあいプラザ3階 E-mail ue-vac@hanzou.or.jp  
までメールか郵送で毎月10日までに送ってください。

発行 伊賀び〜と編集委員会 ホームページ <http://www.hanzou.or.jp/beat/>

窓口=プラットホーム

名張市市民活動支援センター 〒518-0775 名張市希央台5-19 Navarie 2階 名張市市民情報交流センター内  
電話: 0595(63)5325 FAX: 0595(63)5326 E-mail: c-center@city.nabari.mie.jp

伊賀市市民活動支援センター 〒518-0131 伊賀市ゆめが丘1-1-4 ゆめぼりすセンター内  
電話: 0595(22)1511 FAX: 0595(22)0317 E-mail: igasksc@ict.ne.jp

名張市社会福祉協議会 〒518-0718 名張市丸之内79 名張市総合福祉センターふれあい  
電話: 0595(63)1111 FAX: 0595(64)3349 E-mail: volunteer@nabarishakyo.jp

伊賀市社会福祉協議会 〒518-0869 伊賀市上野中町2976-1 上野ふれあいプラザ3階  
上野支所 電話: 0595(21)5866 FAX: 0595(26)0002 E-mail: ue-vac@hanzou.or.jp

伊賀支所 〒519-1413 伊賀市愛田513 いがまち保健福祉センター「愛の里」  
電話: 0595(45)1012 FAX: 0595(45)1050 E-mail: iga-vac@hanzou.or.jp

島ヶ原支所 〒519-1711 伊賀市島ヶ原4743 島ヶ原老人福祉センター「清流」  
電話: 0595(59)3132 FAX: 0595(59)3145 E-mail: shima-vac@hanzou.or.jp

阿山支所 〒518-1313 伊賀市馬場1128-1 阿山保健福祉センター  
電話: 0595(43)1854 FAX: 0595(43)1577 E-mail: aya-vac@hanzou.or.jp

大山田支所 〒518-1422 伊賀市平田656-1 大山田福祉センター  
電話: 0595(47)0780 FAX: 0595(46)1165 E-mail: oo-vac@hanzou.or.jp

青山支所 〒518-0226 伊賀市阿保1988-1 青山福祉センター  
電話: 0595(52)2999 FAX: 0595(52)3555 E-mail: ao-vac@hanzou.or.jp

W.T.Aまちづくりセンター 〒518-0124 伊賀市下郡199 E-mail: nagi\_47\_4\_3@yahoo.co.jp  
電話: 0595(24)7612 携帯mail: nagi-47.4.3@ezweb.ne.jp

皇學館大学名張キャンパス 〒518-0498 名張市春日丘7番町1番地  
学生支援センター 電話: 0595(61)3351 FAX: 0595(61)3350 E-mail: gakusen@kogakkan-u.ac.jp

「おきつも情報局」 〒518-0719 名張市栄町2935-20 皇學館大学まちなか研究室事務室内  
電話&FAX: 0595(63)8139 Email: okitumo@stu.kogakkan-u.ac.jp

今回の伊賀び〜とは9月1日発行予定です。